

校訓

立 志 勉 励

克 己 自 省

協 和 日 新

せ い わ だ い
清 和 台



川西市立清和台中学校 学校だより 令和2年(2020年)3月25日

令和元年度 修了式

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国内外を問わず私たちの暮らしに甚大な影響が出ています。本校においても、生徒の皆さんや保護者・地域の皆さんにご負担をお掛けし感染拡大防止に努め、臨時休校や第45回卒業証書授与式の簡略化等を行いました。そして、本日の修了式も放送で行うなど様々な対応を行っているところです。今後も予断の許さない状況が続くことが想定され、できる限りの予防に努めなければなりません。清中生の皆さんには、どのような状況であったとしても、「自分がやるべきことは何であるか」を明確にし、やるべきことを着実に続けていく事が、今求められる大切な事だと思います。

さて、いろいろなことがあった令和元年度(2019年度)も早いもので、本日修了式を迎えることになりました。今日で、今年度の学年、そして今のクラスが最後の日となりました。皆さんにとってどのような一年であったでしょうか。

今年度の始めに「高い志をもち、自分の夢に挑戦する」と話をしました。

「自分は、こんな風に社会貢献したい」「こういう人生を歩んでみたい」等、自分に何ができるかを考えてほしいと思います。高い志をもち、夢に挑戦するには、固い意志と自分を鍛える覚悟が必要です。素晴らしい才能の持ち主でも努力がなければ夢に近づきません。日々の小さな努力の積み重ねが夢に近づく第一歩です。その為にも今年の目標を掲げ、自分の夢に挑戦していきましょうというメッセージでした。

今年度を振り返り、清中での生活を通してたくさんの学びがあったと思います。すぐに成果が得られたことや、努力はするものの目に見える成果が得られないこともあったでしょう。しかし、それら全てが、自分の成長を支えてくれる大切な経験であり、その経験が新たな発想に繋がっていきます。また、上手いかなかったことは、挑戦への出発となります。

2年生の皆さんへ

4月からいよいよ最上級生として、清中の看板を背負い「立派な清中3年生」としてスタートします。部活動では最後の総体の時期が迫ってきます。体育大会や学習発表会も最後となります。そして、何よりも1年後の卒業式や進路実現に向けてしっかりと準備をしていきましょう。

1年生の皆さんへ

4月からいよいよ中堅学年として、学習活動や学校行事・部活動での活躍など、これまで以上に大きな期待がかかります。また、1年生の頼れる良き先輩として自覚をもち、行動や態度で示すことが出来るようにしっかりと準備をしましょう。

4月7日(火)の始業式には、笑顔で夢や目標をもって、ここ清和台中学校に集まってください。この一年間に感謝し、未来の清中生と清中に期待して、修了式の言葉とします。

令和二年三月二十五日 川西市立清和台中学校長

保護者の皆様へ

令和元年度(2019年度)が本日をもって修了することになりました。保護者の皆様には、常に本校教育にご理解とご協力を頂き心から感謝を申し上げます。

変化の激しい子供を取り巻く環境の中、様々な課題もありますが、全ての清中生が、毎日、笑顔と希望に満ちて、はつらつと登校できるよう教職員一同、日々の教育活動に取り組んでまいります。令和2年度もよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の言葉

ひと雨毎に春が近づく今日の良き日、私たち第45回生175名は、清和台中学校を卒業し、一人ひとり新たな道へと歩み始めます。

仲間と共に過ごした清和台中学校での日々、振り返れば瞬く間に過ぎた三年間でした。三年前、私たちの中学校生活への不安や緊張と重なるような大雨の中、入学式が行われました。一人ひとり初めて聞く同級生の名前が呼ばれ、新しい出会いに期待を膨らませながら、私たちの中学校生活が始まりました。

入学間もない五月、神鍋高原での野外活動が行われました。班活動のウォークラリーでは、噴火口や魚つかみなど様々なポイントを巡りました。レクリエーションや飯盒炊さんなど班やクラスの協力を通して、お互いに仲を深めることができ、活発な中学校生活のきっかけとなる行事でした。

二年生では、さまざまな業種の事業所に分かれて、トライやる・ウィークが行われました。仕事の大変さややりがい、仕事に就くまでの経緯などを知り、大人の社会を垣間見ることができました。この職業体験から、周囲の人に頼ってばかりではなく、自分から行動しようという意識が生まれ、私たちの自立心を強くする一週間でした。部活動に中心となって取り組んだのも二年生でした。部員をまとめることの難しさを感じながらも、仲間と支え合い、励まし合い、チームの絆を実感しました。特に辛かった経験が私たちを強く、たくましく、そして大きく成長させてくれました。

昨年の4月、私たちは最高学年の三年生となり、中学生の最後の年を迎えました。私たちの中で、特に印象に残っている行事が三年生での体育大会と学習発表会です。体育大会の男子体育科演技は、清和台中学校で初となる「形」でした。全く新しいものを自分たちの手で作り上げる。それは、私たちにとって大きな挑戦でした。「全員で美しく、迫力ある「形」を完成させよう。」との決意のもと、本番では、最高の「形」を演じることができました。特に「セイヤー」の掛け声が一つになって響いたことは忘れられません。

また、女子の体育科演技のダンスでは、キレのある動作を生き生きと、笑顔で、そして全力で演技する姿が印象的な素晴らしいものでした。

十月の学習発表会では、中学生最後の合唱コンクールということもあり、練習から本番までクラス一丸となって取り組みました。練習に取り組む中で、私たちの気持ちを高めてくれたのは、最優秀賞への強い思いや他クラスに負けまいと、燃やした闘志。そして、隣で歌う仲間の歌声でした。三年生全員が全力で取り組んだ学習発表会は、後輩に私たちの姿を伝えることもできた、素晴らしい行事となりました。

こうして振り返ってみると、私たちの中学校生活は、仲間や先生、地域の方々、そして家族に支えられた三年間でした。行事、部活動、日々の生活、やはり私たちが一番多くの時間を共にしたのは仲間でした。感動を共にし、いつも支えてくれた赤学年の仲間、三年間ありがとう。また、あらゆる場面で、私たちを導き、支え成長させて下さったのは先生方でした。人として様々なことを乗り越えていく力をつけて下さった先生方、本当にありがとうございました。地域の方々は、トライやる・ウィークを始め、私たちの成長を常に見守って下さいました。私たちも地域に貢献できる大人になれるよう励んでいきます。

そして、私たちの中学校生活を常に支えてくれていたのは、家族でした。反抗期という大変な時期に、私たちを気遣い、温かく見守り続けてくれたことに感謝の気持ちで一杯です。

最後に、全国で臨時休校となった大変な時期に、私たちのために、心のこもった卒業式を行って下さった全ての方々に感謝します。

私たちは、この清和台中学校でかけがえのない三年間を過ごしてきましたが、明日からは、一人ひとりがそれぞれの道を歩み始めます。どんなに時間が経とうとも、どれだけ遠くへ離れても、清和台中学校で過ごした仲間との日々を胸に、私たちは力強く、新たな道を歩んでいきます。

令和二年三月十日 卒業生代表

